

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	今年度新人職員が4名入社し、ベテラン職員による個別指導を実施している。プリセプターとしての実力を発揮して、チームケアの統一を図る。業務にばらつきはあるが、会社の理念を理解し、全員が実施できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な介護技術の方法とチームケアの統一</li> <li>認知症ケアの方法と認知症についての理解</li> </ul>	新人職員に対する現場での継続した介助技術の指導。法人内での新人に向けた研修会の実施と外部研修への積極的な参加。さらに、離職者ゼロを目指した、より良い職場の環境作りと管理者による定期的な面談を実施。	12ヶ月
2	38	○個別支援の充実 コロナ禍であっても日常生活の中で、入居者の個々のニーズに合ったケアや支援の取り組み	法人の理念でもある「らしくいきよう無限に」を理解し、入居者が継続して生き生きと生活していただけるよう、職員一人ひとりの意識を深める。	パーソンセンタードケアの理解。その人らしさを知り、職員側の決まりや都合を優先するのではなく、その方が今どうしたいのか、希望に沿った支援を行う。言葉にできない方への支援はご家族より聞き取りをする。	6ヶ月
3	10	ご家族のアンケート結果を受けて、コロナ禍でも、利用者のご家族の満足度を上げていく。利用者のご家族の思いに耳を傾け、寄り添ったケアを行う。	「来夢に入居して良かった。」と安心して頂けるよう、信頼関係を築いていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特変事はもちろん、日々の生活のご様子なども月に1～2度は電話やお便りなどでお伝えする。法人広報誌と通信は継続している。</li> <li>個別にご相談やお悩みなどについては、問い掛けて行く。</li> </ul>	12ヶ月
4	35	前年度より引継ぎ、自然災害に関する避難計画と消防計画の見直しを行い改善していく。	誰が見てもわかりやすい、防災マニュアルの作成と避難訓練の実施。	既存の防災マニュアルを基本に、隣接する法人「あかり」との防災訓練に向けたマニュアルの整備と訓練の実施。	6ヶ月
5	4	○運営推進会議を活かした取り組みについて コロナ禍のため、書面による報告のみになっている現状がある。今後は議員の方々から意見をお聞きして、サービスの向上に努める	コロナ禍でも、地域に開かれている施設であることをアピールしていく。	まずは、感染対策を行ったうえで、民生委員や知見者の方へ挨拶周りを実施。今年度の新体制と取り組み内容を説明し、さらにはアドバイスを頂く。	12ヶ月